

カンバンシステムを利用 したテストのさばき方

JaSST'17 Kyushu

岡崎 晃伸

2017/11/2

自己紹介

- 株式会社レスコ 品質管理部
- JaSST Kyushu 実行委員
- VSTePユーザーズグループ「VSTePpers」の管理人
- 海が好き
- コーヒーが好き
- 2児のパパ

当発表は
カンバンシステムを参考に
テスト業務プロセス及び
作業進捗管理の改善を図る
取り組み紹介です。

カンバンシステムとは

1. トヨタのかんばん方式が起源
2. David J. Anderson氏がソフトウェア開発用にまとめた方法論
3. 作業の流れと進捗を見える化
4. 仕掛け制限と後工程引取型で品質確保と作業速度の最適化
5. 組織の進化と合わせて仕組みを変化

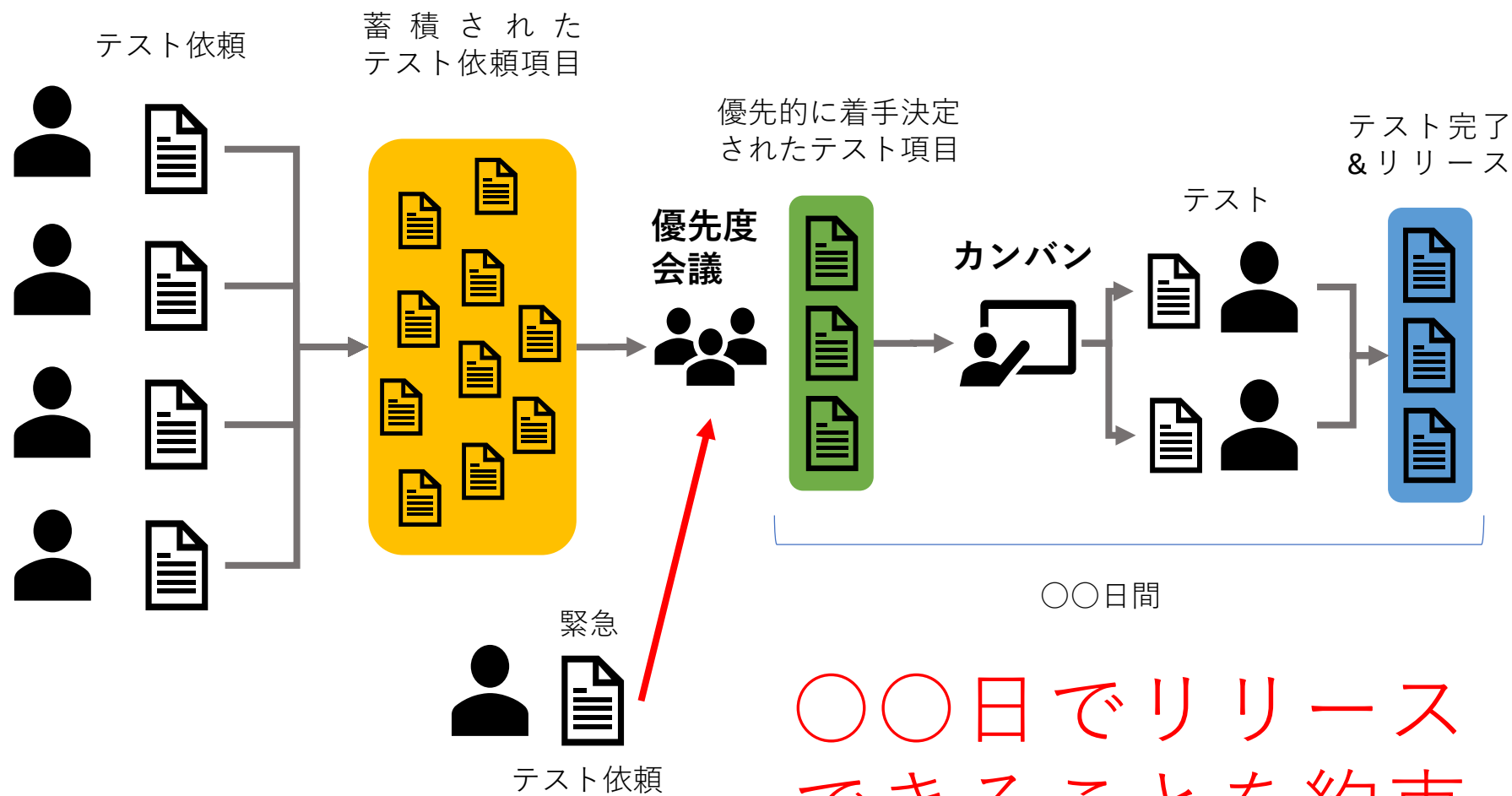
「ウィキペディアより要約 (<http://bit.ly/2gruux2>)」

困っていたこと

1. テスター数 < 開発者数
2. マネージャーとプレイヤーの兼務
3. 優先順番が頻繁に入れ替わる
4. Excelで管理は大変
5. 完了時期を正確に伝えたい
6. 速く品質よくテストしたい
7. 小さく頻繁に改善していきたい

では早速
取り組みを紹介！

ワークフロー

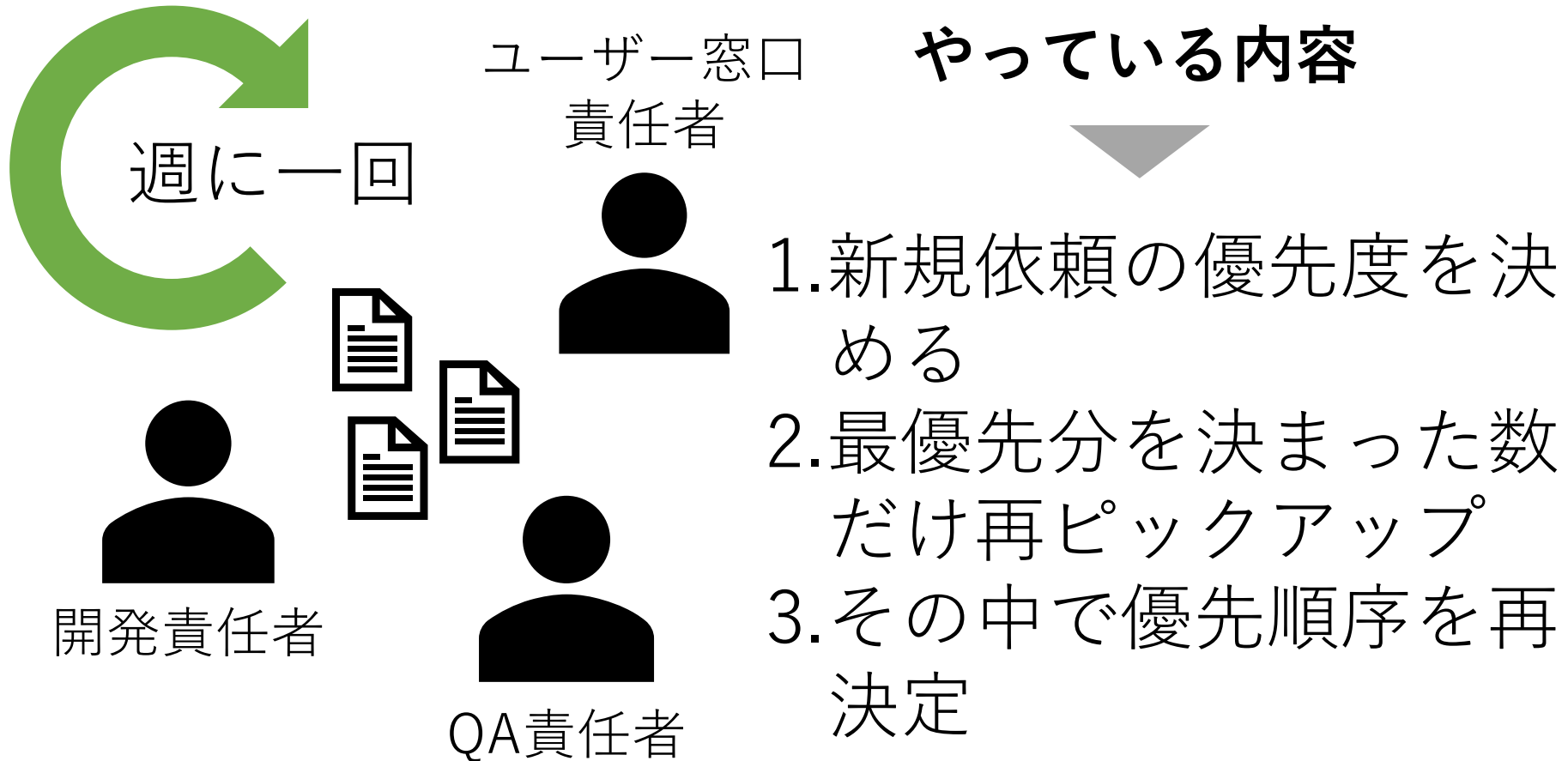


〇〇日でリリース
できることを約束

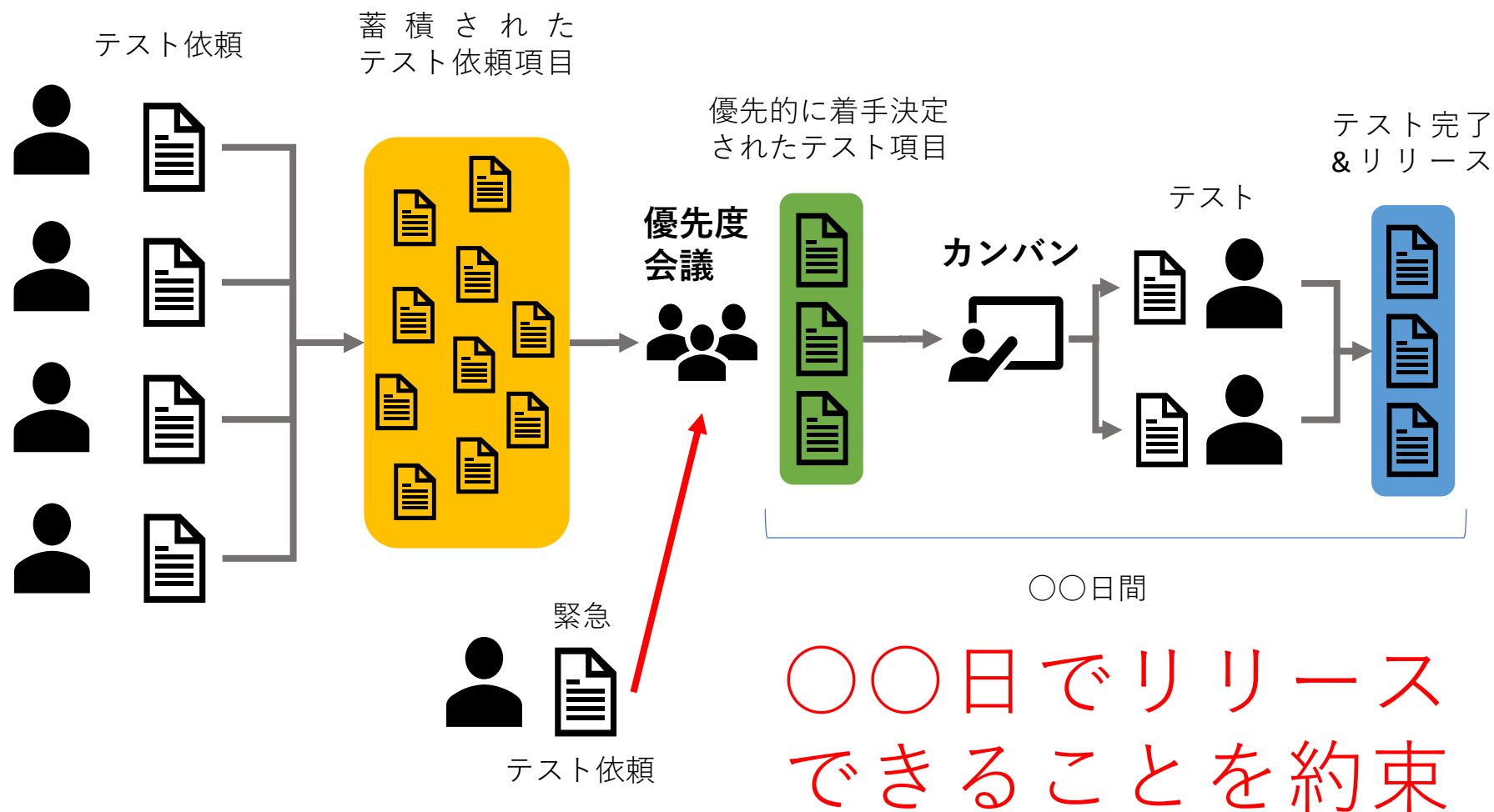
ワークフロー



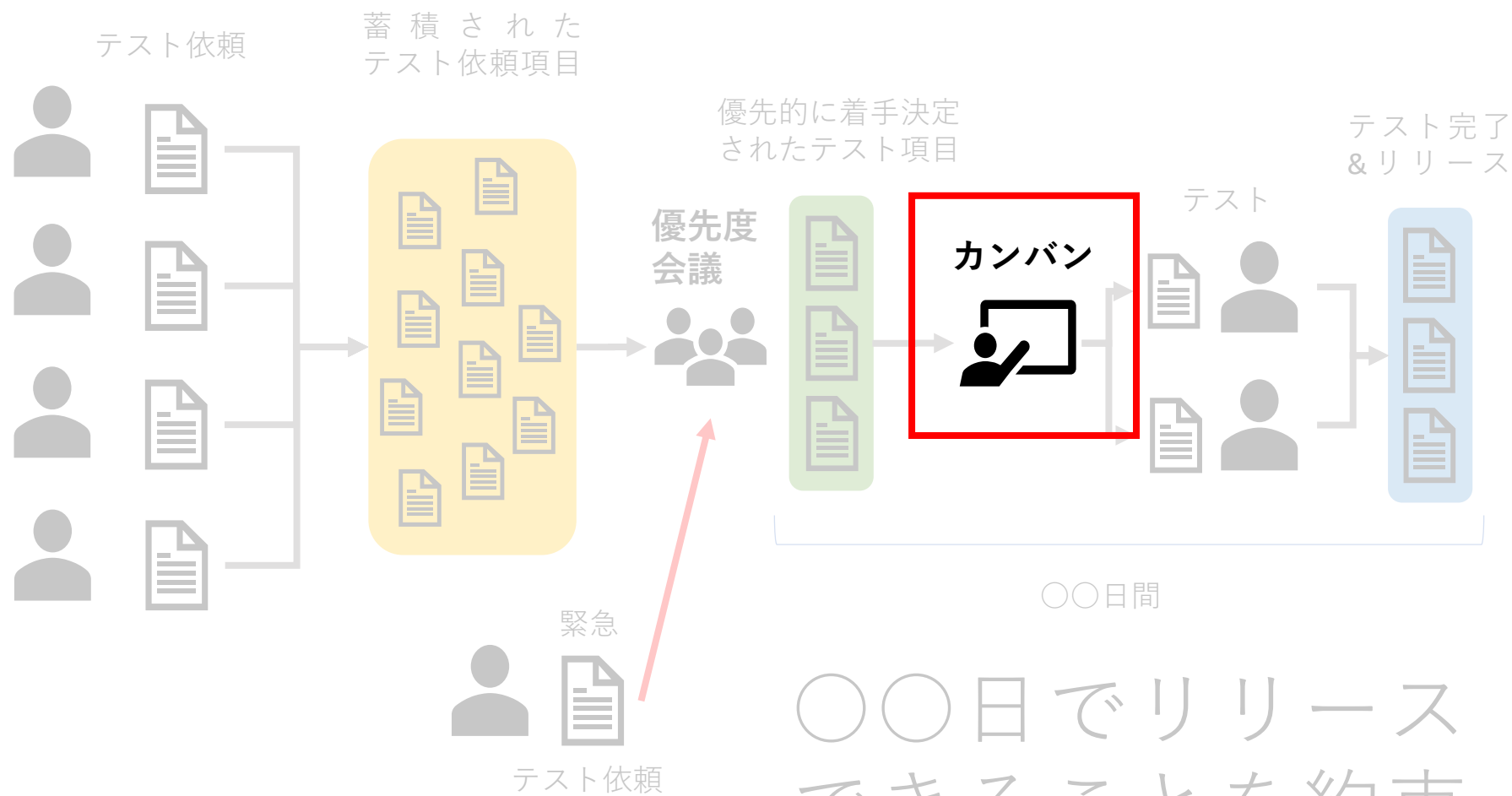
優先度会議



ワークフロー






































ワークフロー



〇〇日でリリース
できることを約束

ホワイトボード

日付	着手予定				テスト設計			テスト実装	テスト実行	テスト完了	保留等
	翌々月より後	翌々月	翌月	今月	分析	概要	詳細				
機能	  	 	 	 							
緊急			  								
障害			   	   			 				
作業	直近4ヶ月後以降		直近3ヶ月後迄		今月	作業中			完了		
					 	 					

色分け



作業サイズ



1日以内 2日以内 3日以内 5日以内 8~13日以内

付箋記載例

Redmineチケット番号
期限日

Redmineチケットタイトル
残り日数

①テスト引受日
②テスト設計開始日
③テスト実装開始日
④テスト実行開始日

停止・停滞の理由
進捗率
未解決の指摘件数

作成日
担当者

- ①テスト引受日～テスト完了日
- ②テスト設計開始日～〃完了日
- ③テスト実装開始日～〃完了日
- ④テスト実行開始日～〃完了日

小さい付箋で付加情報
を書いて共有する

週に1回 ※定期的に
新規追加分を含め
優先順位を再検討する

ホワイトボード

着手予定				テスト設計②			テスト③	テスト④	テスト完了	保留
1月以降				12月	11月	10月	分析	概要	詳細	
機能 緊急	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 15+23=38 テスト設計② テスト③ テスト④ テスト完了 </div>									スループット 平均 40
										10/18 中道さん午後休
障害 14	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 10/17 10/16 10/15 10/14 10/13 </div>									10/18 中道さん午後休
										南登スタジオ ↓
作業 8	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1月以降 10・11・12月 10月 作業中 完了 </div>									R24 R23 R22 R21 R20 R19 R18 R17 R16 R15 R14 R13 R12 R11 R10 R9 R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2 R1 R0
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> S 19/50 品質保証 資料作成 </div>									

運用上の決まりごと

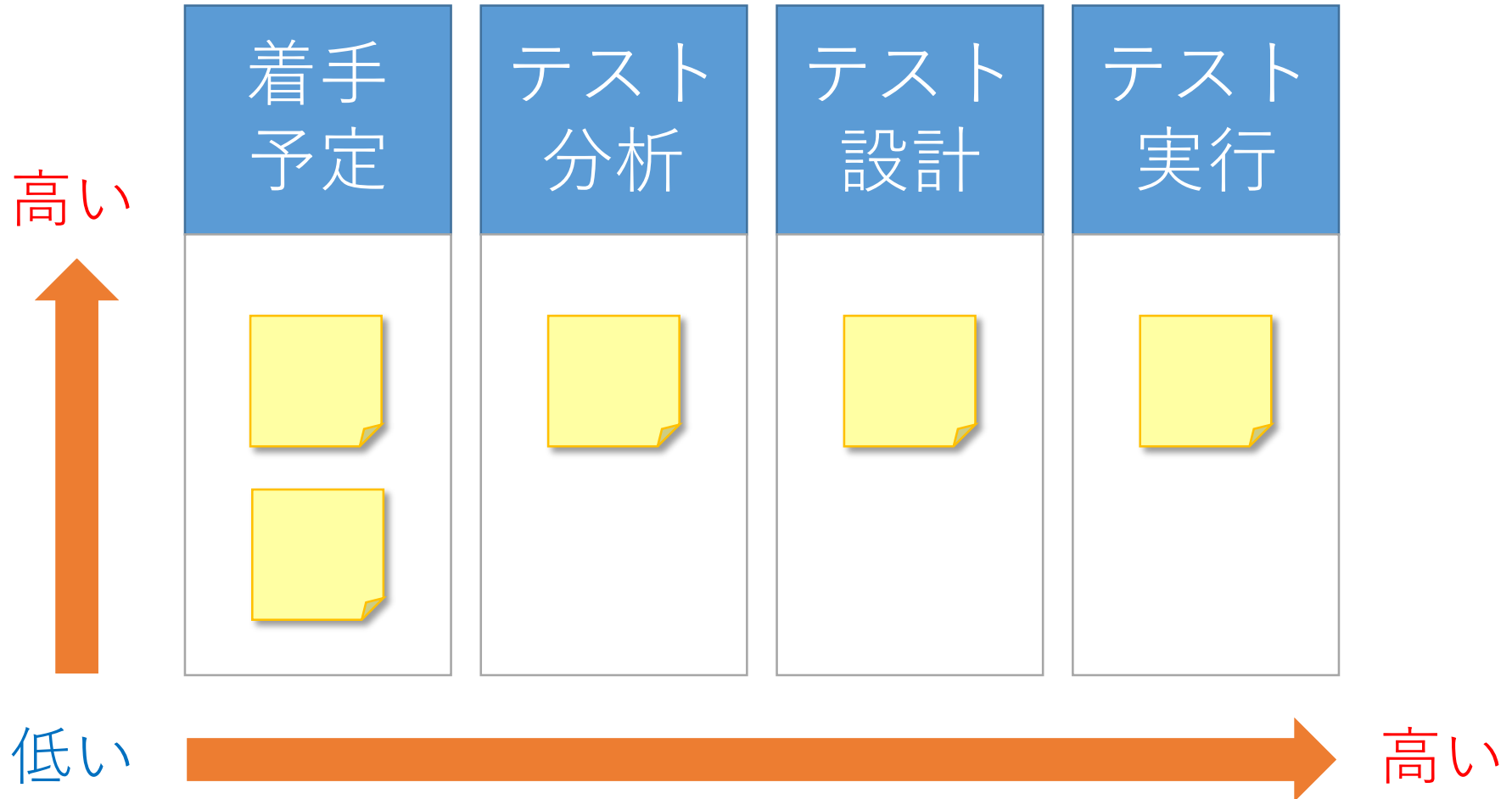
あくまで弊社品質管理部の中でのルール

作業段階で枠を分ける

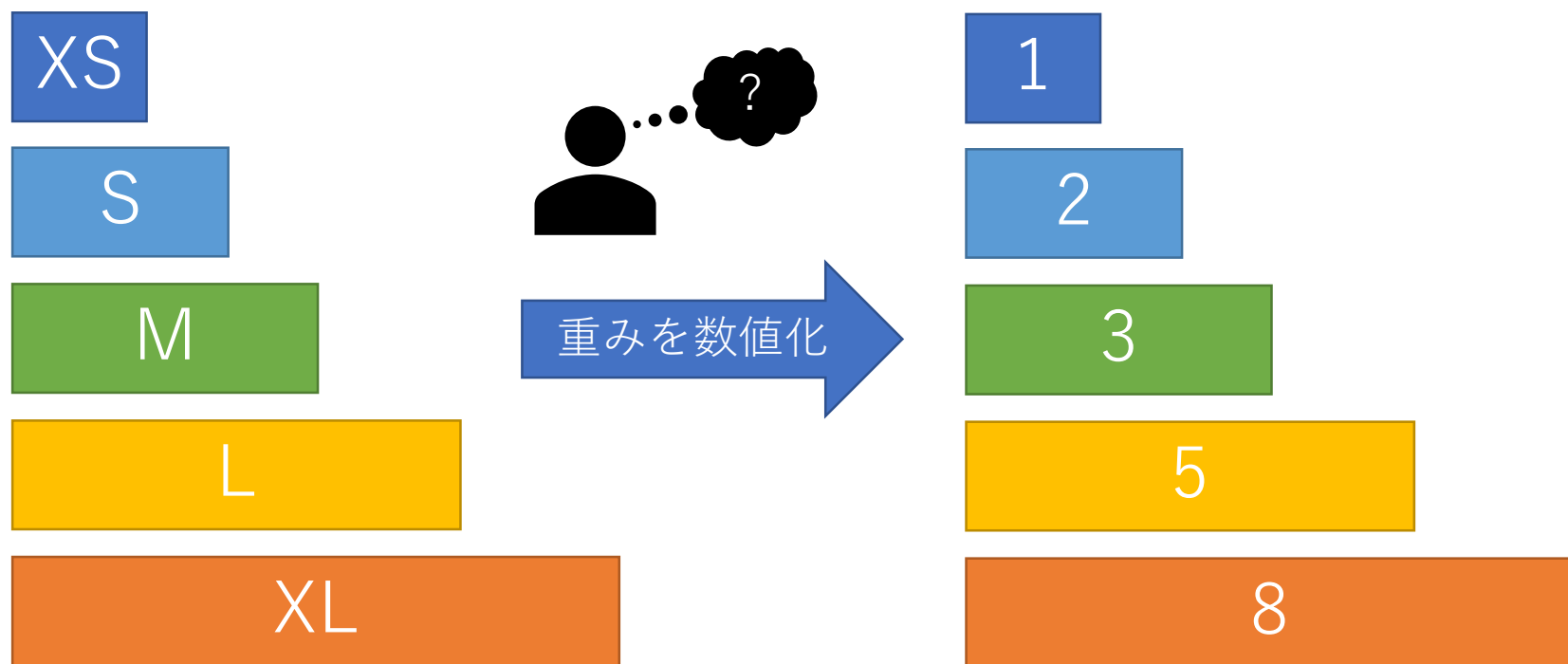


どの作業段階にどんな作業が
どのくらいあるのか見える

優先順位が高い順に貼る



分量をサイズ感で見積もる

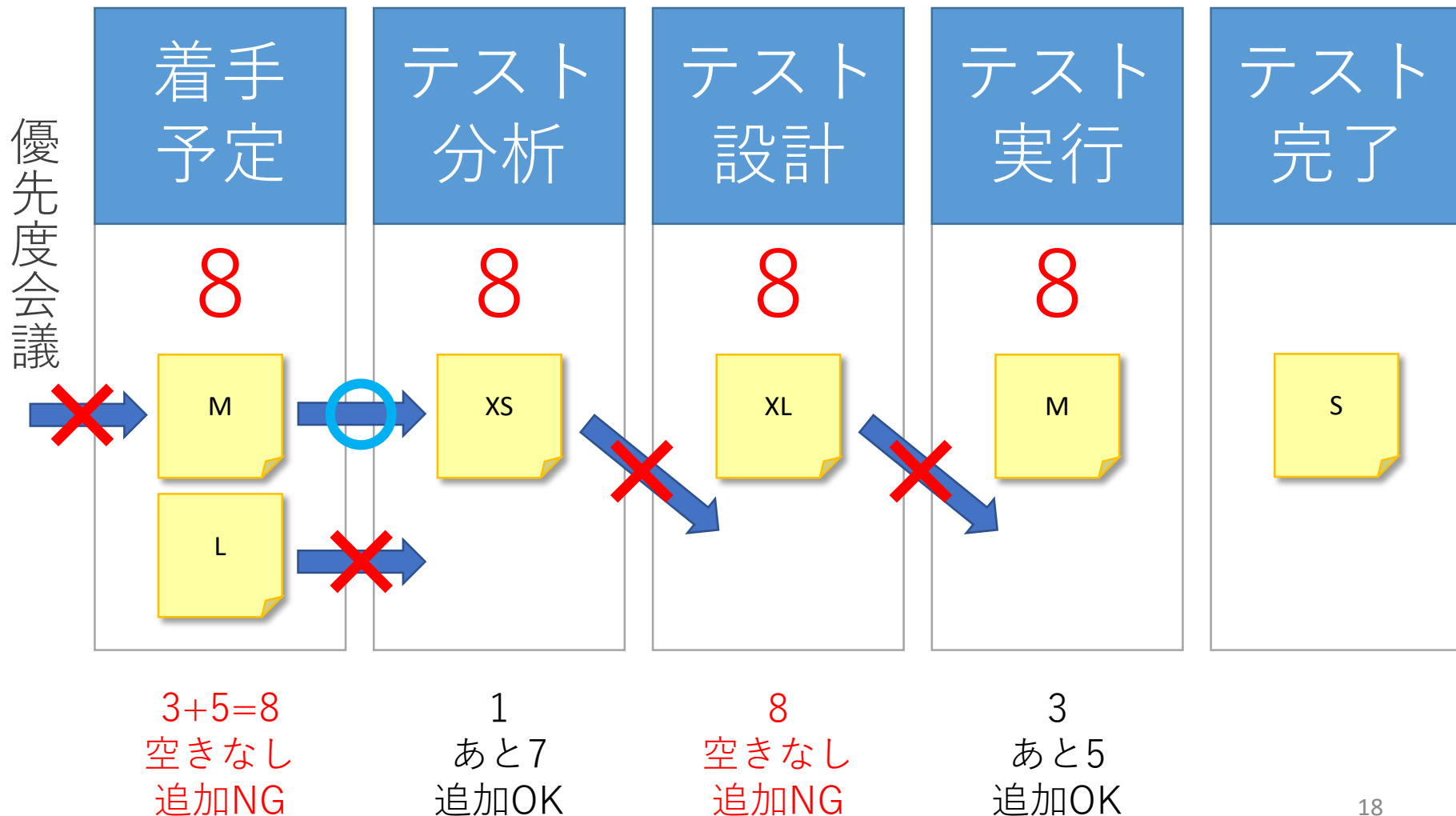


※今は工数(日数)と連動

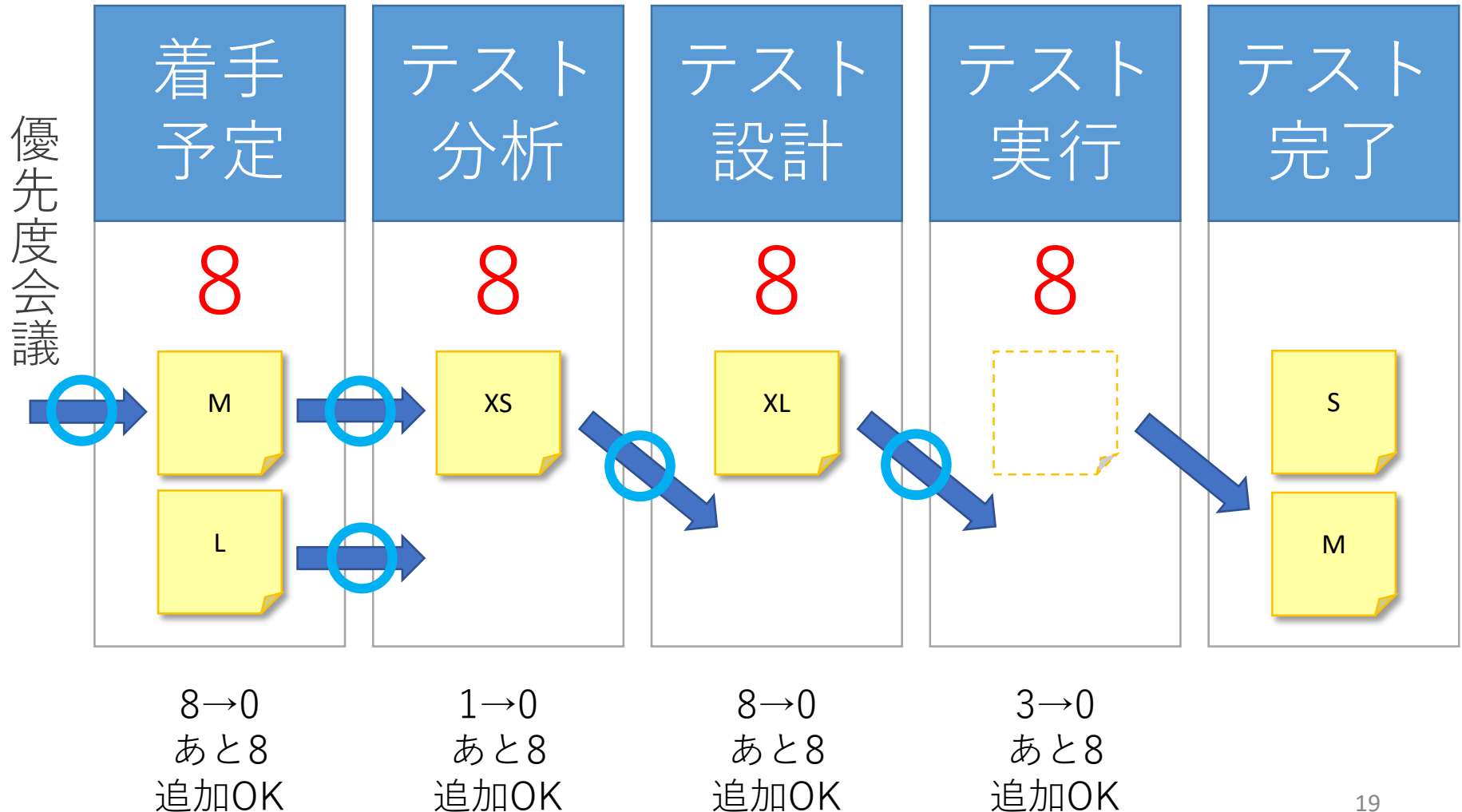
平均的なボリュームをMとして、
今回はどのくらい？

作業段階毎に制限をかける

※赤い数字は制限値

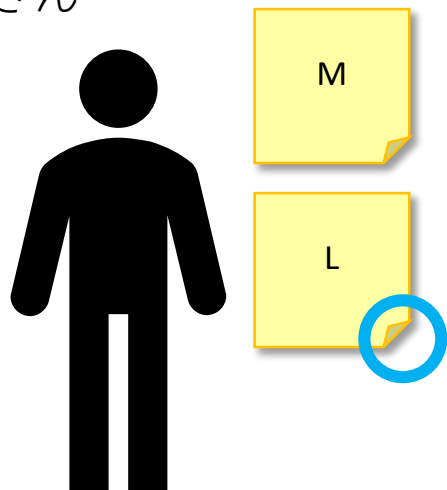


作業段階毎に制限をかける

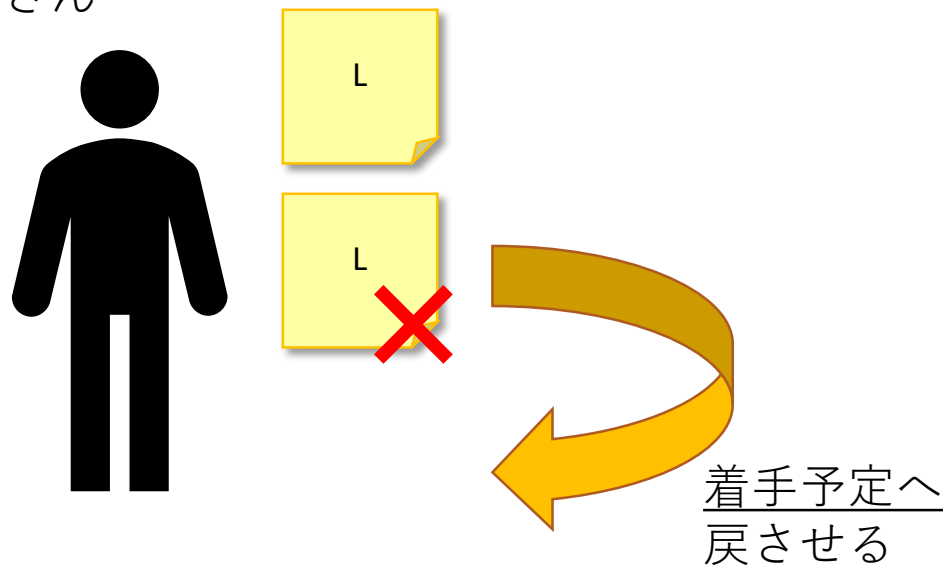


個人毎も制限をかける

Aさん



Bさん



着手予定へ
戻させる

同時にやれるのは
8までに制限する

付箋の書き方

#99999 M ^{11/2}あと2日
患者予約機能拡張

- ① 10/5 ~
- ② 10/5 ~ 10/10
- ③ 10/11 ~ 10/15
- ④ 10/25 ~

10/5

岡崎

今テスト環境が動かん！

90%

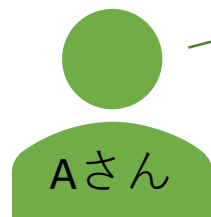
指摘残5

- 管理番号とテスト対象の名前
- テストサイズ
- 期限日
- ①テスト依頼日→テスト完了日
- ②テスト設計開始→完了
- ③テスト実装開始→完了
- ④テスト実行開始→完了
- 作成日

- 期限までの残日数
- 困っていること
- 進捗率
- 未確認の指摘残数

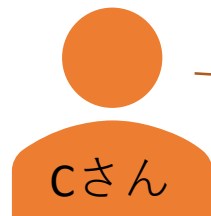
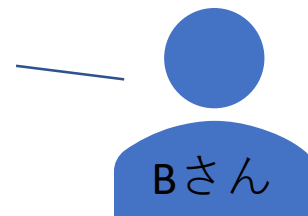
日次に進捗を共有する

毎朝のスタンドアップミーティング（10分）



今患者予約機能拡張進捗90%で予定通りなんですけど、テスト環境が急に動かなくなって困ってます。

今〇〇障害テスト中進捗20%ですが予想よりボリュームあって予定通り終わらない可能性があります。



Aさんの環境はこのあと確認してみますね。Bさん、私少し余裕あるのでヘルプしますよー

日次に進捗を共有する

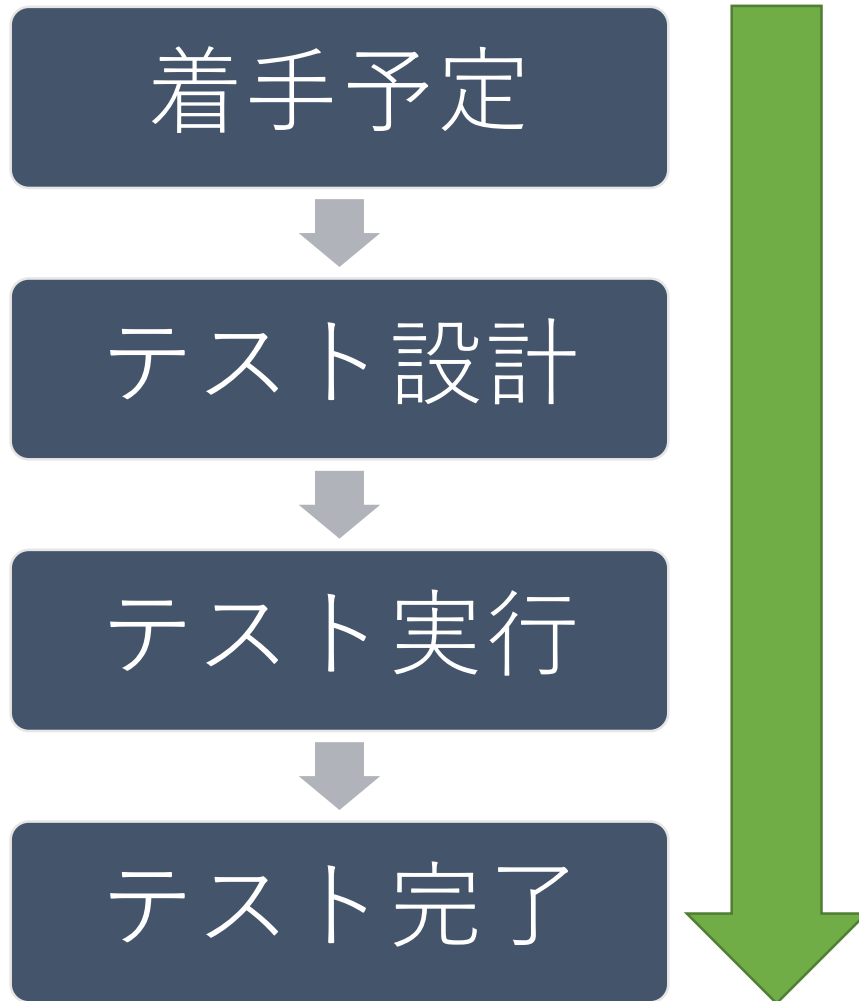
毎朝のスタンドアップミーティング（10分）

付箋記載以外の最新情報を共有して
課題・問題の解決について話す

話合いが長くなりそうなときは別途
時間を設ける

指標

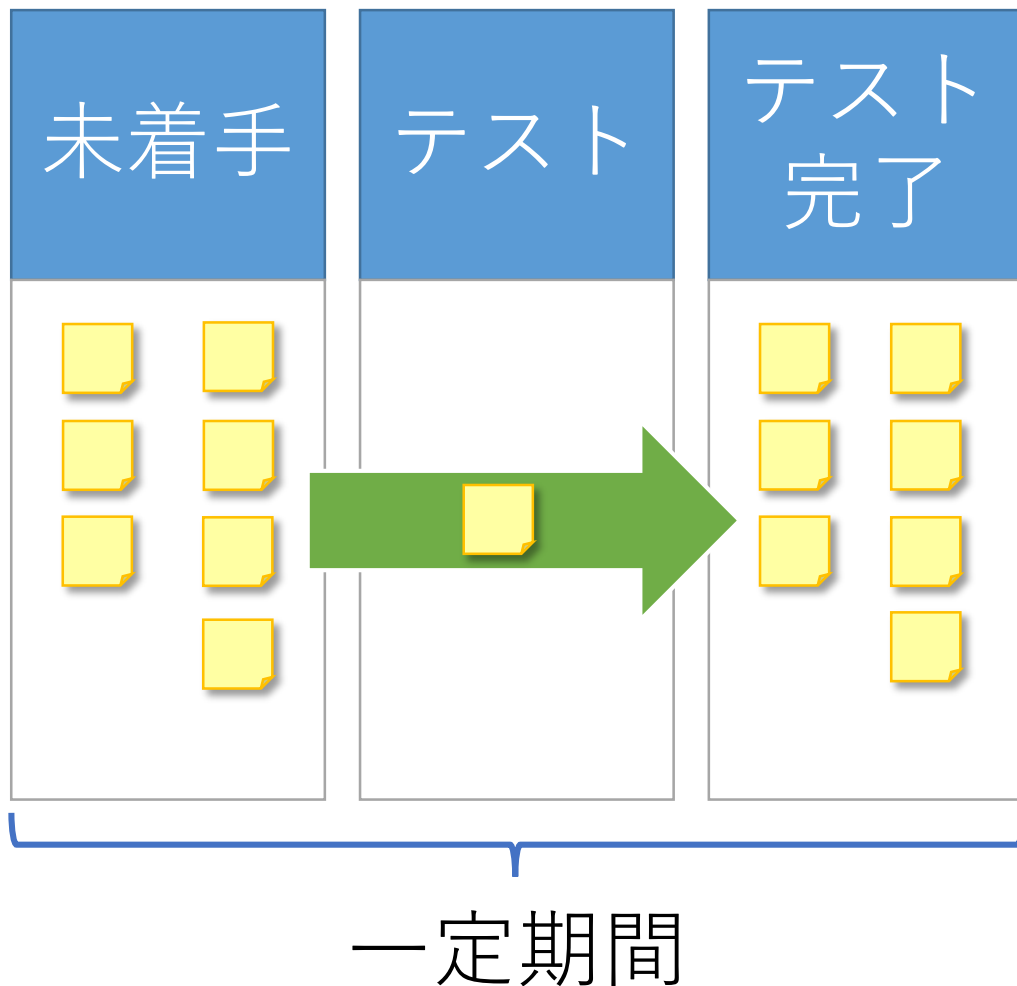
リードタイム



速さをみる

何日で完了できているか？

スループット



量を見る



一定期間に
いくつ完了で
きているか？

導入効果

導入効果

リードタイム



少し短縮



進捗が可視化され
停滞が減った

導入効果

スループット

■ 導入前
■ 導入後



少し増加



仕掛けり中の作業を
少なくしたことで
完了数が増えた

導入効果

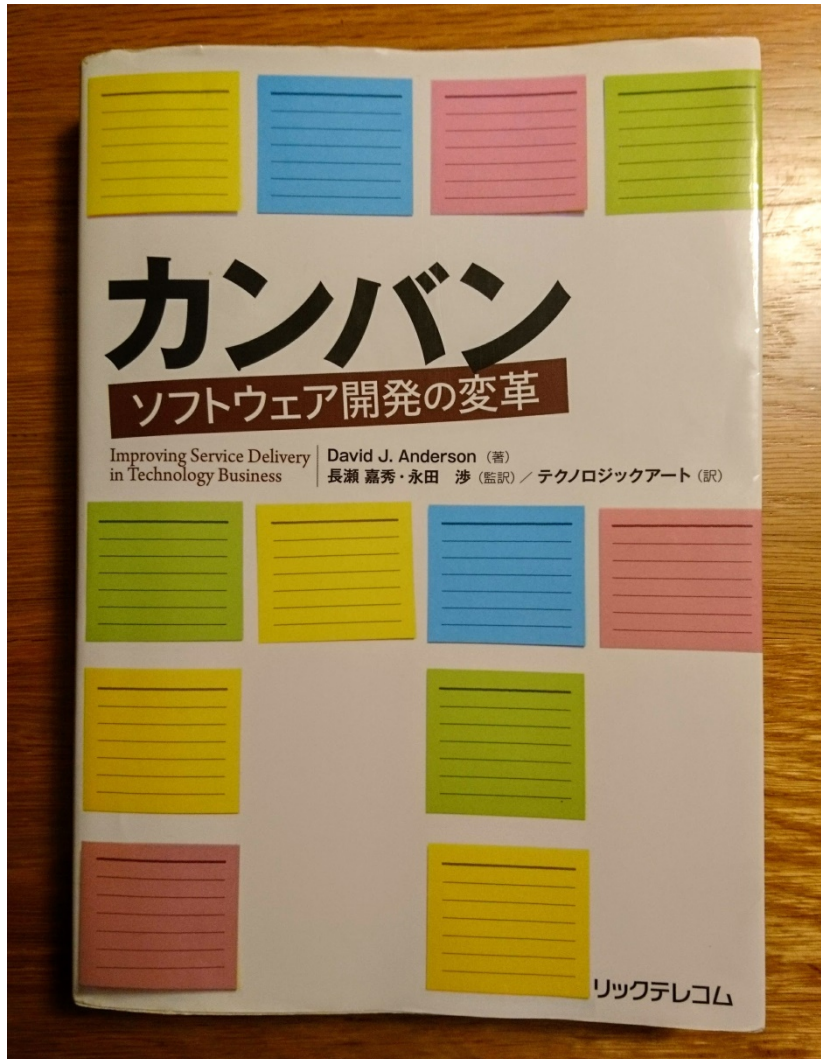
1. 状況の可視化で関係部署の満足感が上がった
2. チームの能力が見えるようになった
3. 高負荷なスケジュールが減った
4. 問題を早期発見できるようになった

最後に

今後の目標

1. 目標値のレベルを上げる
2. 制限の最適化
3. 定期的なふりかえりを継続
4. 各課員が自働できるまで進化
5. 他部署へ当仕組みを提案

参考書籍



カンバン ソフトウェア開発の 変革

Improving Service Delivery in
Technology Business

David J. Anderson (著),
長瀬嘉秀(監訳)(翻訳),
永田渉(監訳)(翻訳),
テクノロジックアート(翻訳)
(リックテレコム 2014)

ご清聴
ありがとうございました！